

平成27年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業

(Ⅱ 定住外国人の子供の就学促進事業)

事業内容報告書の概要

都道府県・市区町村名【 神奈川県・大和市】
平成27年度に実施した取組の内容及び成果と課題
1. 事業の実施体制 担当課(教育委員会指導室、国際・男女共同参画課)とNPO法人日本ペルー共生協会(略称:AJAPE)との協働事業
2. 具体の取組内容 <事業の目的> ①就学準備教育 ②就学児をもつ保護者への支援 ③文化的な多様性への寛容な態度の育成 <実施回数予定> 合計50回(11月～3月の週3回) <開催時間> 14:00～16:00(2時間) <活動内容> ・開校式 ・語彙調査 ・日本語学習(41回) 内、「ともだち」(6回)、「元気な体」(3回)、「健康な体」(6回)、「いろいろな家や遊び」(10回)、「ルールや約束」(10回)、「もうすぐ小学生」(9回)(同一日重複あり) ・体験プログラム(2回) 「世界の遊び、国旗、服など」、「クリスマスツリーの作成」、「図書館見学」、「消防署見学」、「小学校見学」、「ひな祭り」他 ・子育てパートナーてとて」(7回)手遊び歌や、言葉カード、絵本、パネルシアター、工作、買い物ゲーム、ミニ劇などを通して、楽しみながら日常で使う日本語と集団でのルールについて指導する。
3. 成果と課題 <成果> ①プレスクールで集団生活を学び、慣れることができた。 ②礼儀作法を身に付けることができた。 ・入室時、授業開始や終了時、離室時の挨拶ができる、「ありがとう」「ごめんなさい」「貸して」「教えて」などが言える、自分の持ち物を所定の場所に置く、ゴミをゴミ箱に捨てる、椅子に座って話を聞くなど。 ③参加した子どもの中には、日本語がほぼゼロの子ども、外国籍ながら日本語が母語のように話せ

る子どもなど、日本語のレベルが様々であったが、子どもたちの実態に応じた指導の工夫を心がけた結果、日本語だけでなく母語の語彙も増えた(開始時と終了時の語彙調査結果)。

<課題>

①保護者による送迎ができないとの理由で、参加を断るケースが多々あった。今後は、そのような家庭に対しても支援できるように、プレスクール専用の送迎車が必要であるとする。

4. その他(今後の取組等)

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない。)